

令和7年度 立川市立立川第二中学校 授業改善推進プラン

学校の教育目標	○進んで学ぼう ○思いやりの心を持とう ○理想の実現に努めよう
---------	---------------------------------------

育成を目指す生徒像	教科や学年全体に共通する取組
○主体的・対話的で深い学びを行う生徒の育成 ○思考力・判断力・表現力等の育成 ○主体的に学習に取り組む態度の育成	<ul style="list-style-type: none"> UDの視点を取り入れた教室整備や授業展開をし、主体的・対話的で深い学びのための学習意欲を引き出す。 国及び都の学力調査、東京ベーシック・ドリル、都立高校学力検査の分析を活用しながら、授業の質的向上のための改善を図る。 年2回の教員相互の授業観察により、主体的に学習に取り組む態度の育成に向けた授業の工夫を図る。

教科	生徒の実態を踏まえた教科で育成を目指す資質・能力	資質・能力を育成するための具体的な取組（学習活動など）
国語	○言語に関する基本的な知識や技能を活用し、国語を適切に表現し正確に理解する力 ○論理的な思考力や想像力を養い言語感覚を豊かにする力 ○互いの立場や考え方を尊重しながら言葉で伝え合う力	<ul style="list-style-type: none"> 漢字や文法、書写技能の習得を図るため、教材や教具を活用して定着を図る。 授業目標、読解の視点を理解させるため、発問や課題、活動の仕方を提示して日常生活や社会生活と授業での学びを結び付けられるように授業展開を工夫する。 ICT機器を活用するなど、協働的な学びの機会や互いの考えを共有する場面を取り入れる。
社会	○基本的な知識や技能を活用し、社会的事象を関連付けて考察する力 ○日常生活における社会的事象に関心をもち、授業での学びを生かしながら主体的に課題を追究し、解決しようとする態度	<ul style="list-style-type: none"> 日常生活や他教科の学習と授業での学びを結び付けられるように授業展開を工夫する。 授業の振り返りや単元のまとめレポートの作成を実施することで、自己の学習を振り返り、次の学習に生かせるようにする。 時事に関することを題材にしたり、ICT機器を活用したりして、生徒の興味・関心を惹き付ける。
数学	○数学を活用して事象を論理的に考察する思考力、数量や図形などの性質を見いだす判断力、数学的な表現を用いて事象を的確に説明できる表現力 ○数学的活動の楽しさや数学のよさを考えるなど、学習内容や学習方法を自身で振り返り、数学を問題解決に生かそうとする態度	<ul style="list-style-type: none"> 図表やグラフ、映像など、ICTを活用し、視覚的な指導方法を多く取り入れ、生徒の興味・関心を引き出す。 協働的な学びの機会を増やし、互いの意見を吟味させる活動を取り入れる。 毎時間の授業の振り返りや、章のまとめレポートを作成することで、自身の課題や現状を把握させ、学習方法の改善へとつなげられるようにする。
理科	○身の回りの現象に興味・関心をもち、課題発見力及び解決力を育む ○自然事象に対し、自ら課題を見いだし、実験計画を立案し、得られた結果を分析・解釈する力 ○学習内容をもとに、身のまわりの自然現象にすんで関わり、主体的に探究しようとする態度	<ul style="list-style-type: none"> 実験・観察において予想と結果、及び考察の指導に引き続き注力していく。また、他者の意見を聞き、自身の考えを深める時間をとっていく。 生徒が自ら課題を見いだし、それを解決するための実験計画を立案する場面を設ける。 図やモデルを活用し、自然現象などを可視化し、生徒がイメージをもちやすくなる授業を展開する。

音楽	<ul style="list-style-type: none"> ○音楽を形づくっている要素や、要素同士の関連を知覚して、それらの働きが生み出す雰囲気を感じとり、曲にふさわしい音楽表現を考える力 ○様々な音楽のよさを味わい、音楽表現の豊かさを深めていく力 	<ul style="list-style-type: none"> ・歌唱や鑑賞、器楽、創作のすべての領域で、音楽を形づくっている要素の働きを理解して、他者と共有しながら、音楽表現を工夫し、深める。 ・自身が感じ取った音楽のよさを、他者と共有して、過去の学習と照らし合わせて、系統的に学習を深める。
美術	<ul style="list-style-type: none"> ○表現、鑑賞活動のための造形的な見方・考え方 ○感性や想像力を働かせ、豊かに発想・構想する力 	<ul style="list-style-type: none"> ・発想を広げるため、アイデアスケッチの相互鑑賞や中間報告会の場を設定し、他者と共有しながら、言語化できるようにする。 ・豊かな構想を練るため、素材や用具の試行錯誤ができる機会を設定する。
保健体育	<ul style="list-style-type: none"> ○自分で学習を調整・選択でき、挑戦できる力 ○失敗することを恐れず、挑戦し続けることができる力 ○考えたことを技能に結び付けることができる能力 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎時間、授業のめあてを明確にする。また、生徒自身にも目標を立てさせ、学習カードなどを用いて言語化させることで思考力・判断力・表現力を育成し、挑戦を続けられるようにする。 ・動画撮影など ICT 機器を活用して思考を促し、自身の課題を発見・改善し、技能の向上につなげる。
技術・家庭	<ul style="list-style-type: none"> ○豊かな生活ができるように、生活課題を主体的に解決しようとする態度 ○豊かな生活を営める基礎的な生活技能 	<ul style="list-style-type: none"> ・見通しをもった作業計画を立てることで、主体的に作業に取り組むことができるようする。 ・基礎的な知識や技能を身に付けられるよう、ICT 機器を活用する。 ・協働作業の場面を意図的に設定し、意見交換を取り入れることで、教え合せ、思考力を伸ばす。
外国語	<ul style="list-style-type: none"> ○学んだ言語の表現を理解し、活用して、即興的に自分の意思や気持ちを表現できる力 ○自らの課題を理解し、主体的に学習しようとする態度 ○学んだことを理解し、自ら工夫をして整理する力 	<ul style="list-style-type: none"> ・外国語で伝え合う対話的な言語活動の機会を充実させるための場面設定の工夫と、有効的なペアやグループ活動を行う。 ・基礎的な知識の定着を図るため、教科書の Part や Unit ごとに確認テストを実施する。 ・学んだことを主体的に整理し、まとめるための復習ノート作成や家庭学習に向けた指導を徹底する。